

# アスベスト用負圧監視装置 【PL10ルームインスペクタ簡易取扱説明書】

SN-PL10-M02 1/2

2007.5.15 作成

\*ご使用になる前に必ず詳細な取扱説明書【SN-PL10-M01】をお読み下さい。

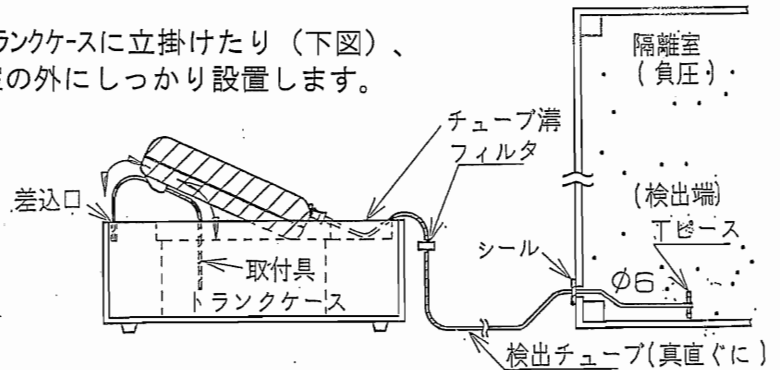
## 1、設置する時

### ■ モニタ本体の設置

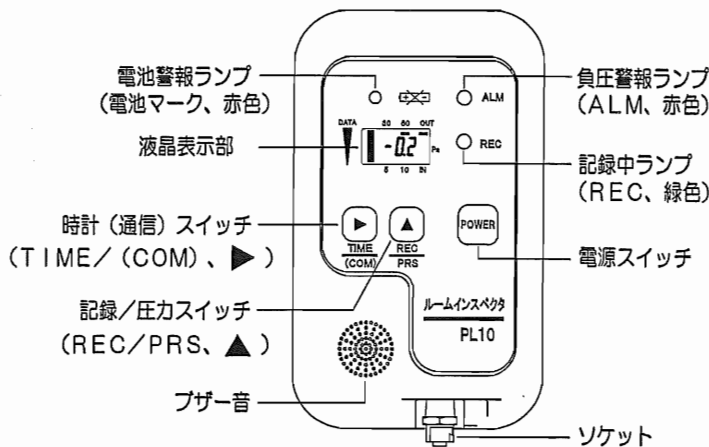
モニタ本体の裏面に取付具を装着して、トランクケースに立掛けたり（下図）、壁などのフックに引掛けたりして、隔離室の外にしっかり設置します。

### ■ 検出チューブの配管

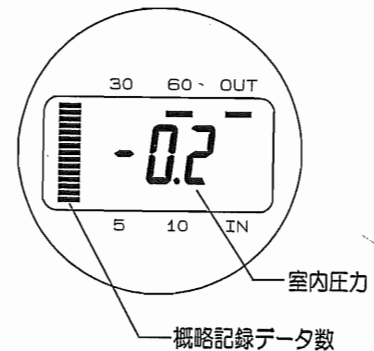
- 検出チューブを隔離室内に入れます。検出端を風や振動が当たらない場所に決めて、Tピースを差し込みます。
- 先端プラグをモニタ本体のソケットに差し込み、時計方向に回してロックします。



## 2、モニタ本体

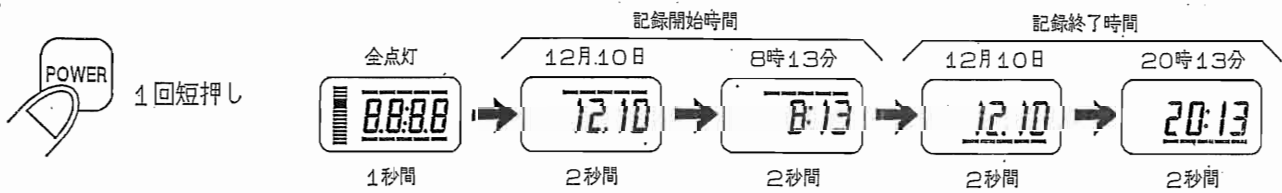


### 液晶表示部



## 3、電源オン

「POWER」スイッチを短押しして下さい。「ピッ」「ピッ」と鳴り、電源がオンします。9秒間のパワーオンメッセージ（全点灯・記録開始・終了時間表示）してから、室内圧を表示します。

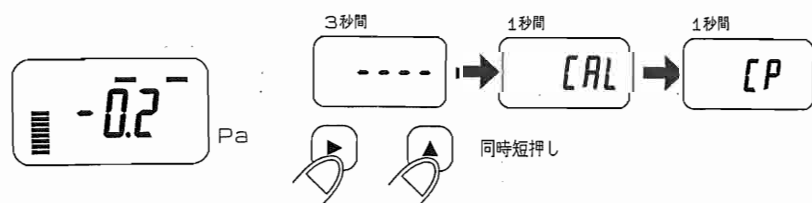


## 4、ゼロ点の確認

<電源オンして約3分後にゼロ点の確認を行って下さい>

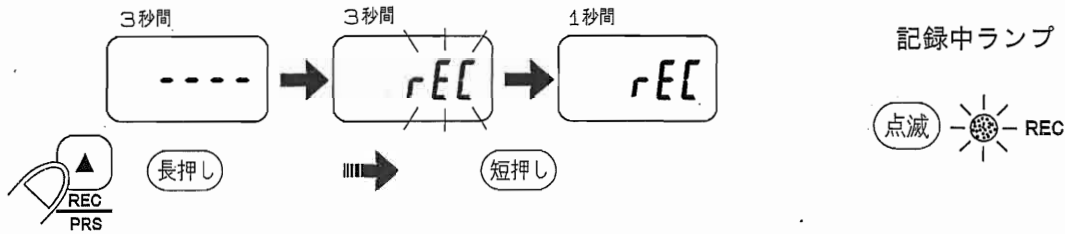
- モニタ本体から検出チューブを外し、差圧センサのゼロ点が下記範囲内であることを確認して下さい。
- 下記範囲外の場合は、「▲」と「▶」スイッチを同時に3秒以上の長押ししてゼロ調して下さい。"CP"表示で完了です。
- ゼロ点を再確認して下さい。

ゼロ点P<sub>0</sub> : ±0.5Pa以内



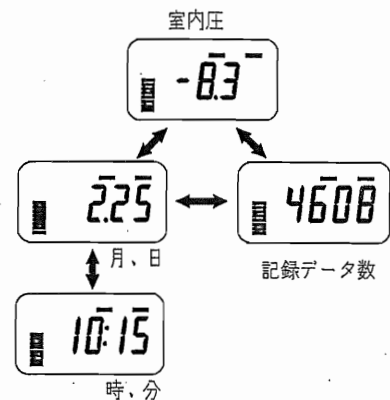
## 5、記録と負圧警報の開始

「REC/PRS、▲」スイッチを3秒以上の長押しして”rEC”点滅中にもう1回短押し下さい。  
データ記録と負圧警報が開始します。5秒毎の記録中（REC）緑ランプの点滅を確認して下さい。  
なお、この開始操作は、前の記録データが消去されますので、注意して下さい。



## 6、表示切替

- 「REC/PRS、▲」スイッチを1回押す毎に、室内圧(±□□.□)と記録データ数(□□□□)を交互に表示します。  
なお、バーグラフ表示においても、概略の記憶データ数を常時確認できます(記憶データが満杯で15バ-全点灯)。
- 「TIME/(COM)、▶」スイッチを1回押す毎に、現在の月日(□□.□□)と時分(□□:□□)を表示します。



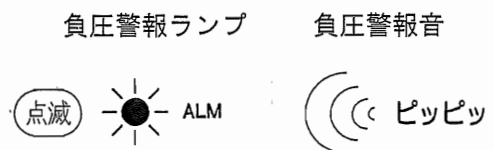
## 7、記録と負圧警報の終了

- 記録データ数が満杯になると、”FULL”表示し、記録が終了（REC緑ランプ消灯）します。負圧警報は継続しています。
- 記録途中で電源オフすると、記録はその時点で終了します。負圧警報も終了します。なお、電源オンしても再開しません。



## 8、負圧警報

負圧異常になると、ALM赤ランプが1秒毎に点滅し、ブザー音が1秒毎に「ピッ」ピッ」と鳴り、警報を発します。



## 9、電源オフ

「POWER」スイッチを1秒間に2回短押しして下さい。電源がオフします。  
つまり、1回短押しして、「ビ-」鳴動中にもう1回短押しします。



## 10、パソコン保存

モニタ本体の記録データをパソコンに保存し、室内圧のトレンドグラフ表示させたい場合は、パソコン管理ソフト取扱説明書【SN-PL10-M10】参照して下さい。

## 11、電池容量低下警報

電池マークの赤ランプが点灯しましたら、  
電池が容量低下していますので、必ず電源をオフし、  
4本全て新しい単3アルカリ乾電池に交換して下さい。

